

ゆかりの地  
白虎隊記念館前  
(会津若松市飯盛山)

5/29

# 鶴ヶ城攻防戦に来援した水戸藩兵などの供養 水戸藩諸生党鎮魂碑建立

## ●落成除幕式 5月28日(日) 午前11時30分より

幕末の水戸藩は尊皇敬幕では一致していたが、攘夷思想をとり入れた後期水戸学による各種の事件のため、天狗党と諸生党とが激しい抗争を展開しました。諸生党は、御三家のため徳川のために戦うのが使命と考え、慶応四年(一八六八)、家老の市川三左衛門ら五百人が水戸藩を脱走、幕軍脱走隊、会津、長岡藩とともに北越戦線で奮闘しました。

北越戦争後、諸生党は会津に入り、慶応四年八月二十三日、西軍は鶴ヶ城に怒涛のごとく殺到します。城を守る会津兵は実に僅少、の時、越後から帰っていた水戸藩諸生党の一部二百名が駆けつけ防禦し、落城の危機を救いました。この救援は実に会津藩を感激させました。この後も、城の防戦や勇将佐川官兵衛の部隊に入るなどし、相当数の戦死者を出すなど犠牲を惜しまず活躍します。

鶴ヶ城開城後は水戸に帰り水戸城を攻めますが全滅します。水戸「仰天会」では、鶴ヶ城の危機存亡を救うなど戊辰戦争で活躍し、最後には水戸で奸賊の汚名を受けたまま敗者となった水戸諸生党、農兵隊の鎮魂碑をゆかりの地に建立、永くその供養になればと願っています。

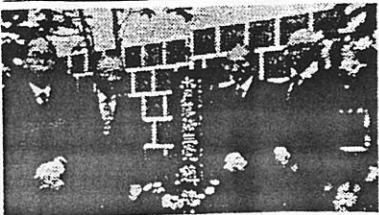
### 仰天会・協賛者



福島版 5/29

## 水戸藩諸生党しのぶ

### 飯盛山に鎮魂碑お目見え



鎮魂碑を除幕する早川さんら

百三十二年前の会津戊辰戦争の鶴ヶ城攻防戦で、会津藩の援軍として西軍と戦った水戸藩諸生(しよせい)党の鎮魂碑が二十八日、会津若松市飯盛山の白虎隊記念館前にお目見えした。

水戸市緑町の郷土史家栗栖平造さん(八〇)・茨城県セントー協同組合理事長、元

## 会津藩の援軍 水戸・諸生党

# 飯盛山に鎮魂碑

子孫ら除幕

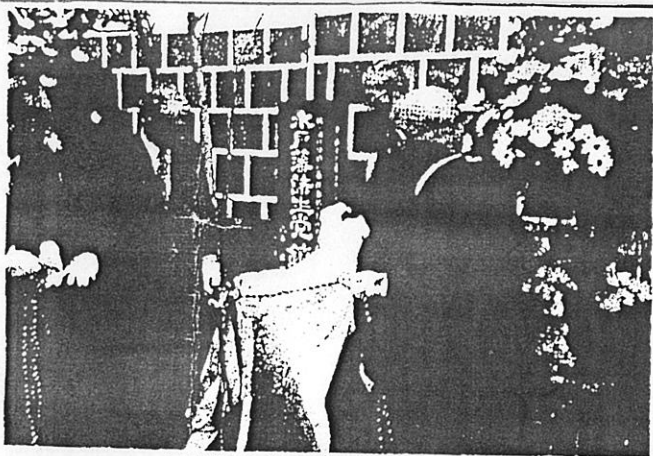
5/29

### 若松

会津戊辰戦「がゆかりの地に鎮魂碑を」と呼び掛けた。地元会津若松市の白虎隊記念館長・早川中さん、会津史談会長・三橋正雄さんが協力した。

鎮魂碑は高さ一六六センチ、幅四五センチ、奥行き三五センチ、と刻まれている。除幕式は仰天会の関係者ら約五十人が出席した。栗栖さんが「諸生党が奥羽越列藩同盟軍と行動を共にして、会津藩領内で勇戦奮闘した史実を知ってもらい、永くたたえたい」とあいさつ。早川館長は「三橋会長らと除幕を行った。全会津吟剣支部連合会の大島雄洲さんが碑前で詩吟を奉納した。」

諸生党は尊皇派の天狗党に敗れ、水戸藩を脱藩、戊辰戦争では北越、会津での戦いで奮戦、多くの犠牲者を出したとされている。



鎮魂碑の除幕を行う関係者。右から2人目が栗栖さん

茨城県職員や、同市の諸生党子孫でつくる仰天会の人たちが協力を呼び掛けて、ゆかりの地に建立した。

除幕式には仰天会、会津史談会などから五十人が出席。栗栖さん、仰天会幹事前田恒春さん、白虎隊記念館長早川中さん、会津史談会長三橋正雄さんの四人が紅白の綱を引いて白布を取り除いた。

鎮魂碑は台座を含めて二メートルの高さで、黒みかげ石製。水戸市に住む元小学校長で書家の飯野小八郎さんが、水戸藩諸生党鎮魂碑と揮毫した。

会津地方での諸生党関係の史跡、記念碑は今度が初めて。

早川白虎隊記念館長や三橋会津史談会長らは「会津では諸生党の救援、奮闘はほとんど知られていなかった。鎮魂碑によって新たな史跡として市民や観光客の関心も高まる」と、建立を喜んでいる。